

所管課		都市建設部道路管理課																
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策											
	第4章 安全安心都市			09 道路			02 道路環境を向上させる											
	事業：橋梁整備事業											整理番号	0309					
目的		橋梁を常に良好な状態に保ち、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。 地震時、落橋による地域の分断や孤立化を防ぎ、避難や救助、復旧や救援物資搬送のための緊急交通路を確保するため、地震に強い橋梁を整備する。																
目標		橋梁長寿命化修繕計画の策定をめざす。 計画策定のための橋梁点検(現況調査)を実施、過年度実施済み分とあわせ橋梁長寿命化修繕計画を策定する。																
事業費・財源		事業費(決算額)(千円)		10,164		コスト情報・評価	総コスト(千円)		14,925		総合評価	B	妥当性		A			
		財源内訳	一般財源		9,064		内訳	事業費		10,164			効率性		A			
			国府支出金		1,100			人件費		4,761			有効性		B			
			地方債		0			公債費		0			「有効性」について、計画上の年間修繕橋梁数及び予算が現実値より大きくなっている。					
			その他特定財源		0			一人あたり(円)		132								
								世帯あたり(円)		317								
貢献度		施策に対する事業貢献度		A		根拠		橋梁修繕に関し、各橋梁の大まかな修繕時期や修繕内容を把握できる。										
今後の方向性		限られた予算と職員数で事業を進めていくことになるが、修繕を実施するごとに計画との整合性を確認し、必要に応じて計画を見直していく。																

事業 優先順位		1	細事業:橋梁整備事業					整理 番号		01					
目 的		定期的な点検により健全度を把握するとともに、早期に損傷等を発見し、事故や大規模な補修に至る前に、効率的・効果的な修繕や架け替えを計画的に実施し、コストの縮減と長寿命化を図る橋梁寿命化修繕計画を策定する。													
目 標		橋梁長寿命化修繕計画策定のための橋梁点検(現況調査) 橋梁長寿命化修繕計画の策定													
事業 実施主体		委 託		事業開始 年 度		昭和47年度以前		根拠 法令		道路法 第42条 第1項					
事業費・財源					平成24年度		比 較				平成24年度		比 較		
	事業費(決算額)(千円)				10,164				コスト 情報・従事 職員数	総コスト(千円)				14,925	
	一般財源				9,064					事業費				10,164	
	国府支出金				1,100					人件費				4,761	
	地方債				0					公債費				0	
	その他特定財源				0					一人あたり(円)				132	
					0					世帯あたり(円)				317	
					0					職員数(人)				0.60	
					0					再任用職員数(人)				0.00	
今 後 の 方 向 性		限られた予算と職員数で事業を進めていくことになるが、修繕を実施するごとに計画との整合性を確認し、必要に応じて計画を見直していく。													
評 価	妥当性		効率性		有効性		対象者		河内長野市(道路管理課)が管理する橋梁 114橋(道路台帳記載の橋梁)						
	A		A		B										

事業：橋梁整備事業

市では現在、市道上の道路橋 114 橋と歩道橋 10 橋の合計 124 橋を管理しているが、これらの橋梁の安全性、信頼性を確保することは、日常の市民生活にとって必要不可欠であり、特に跨線橋や跨道橋、防災上の緊急交通路上の橋梁などは安全性に対する重要度が高く、一定の耐震性能を有していることが求められている。

しかし市の管理する橋梁の多くは高度経済成長期に架設されており、現在、建設後 50 年以上を経過している高齢の橋梁数は 28 橋であるが、20 年後には全体の 70% にあたる 87 橋が建設後 50 年以上となる。そのため、橋梁の老朽化がこのまま進めば一時期に多くの修繕や架け替え工事が集中し、費用が増大することが懸念される。

そこで市では、橋梁の長寿命化と修繕に要する費用の削減を図り、道路網の安全性・信頼性を確保することを目的に「橋梁の長寿命化修繕計画」を策定することとした。

この目的のため平成 22 年度より順次、橋梁の点検を実施してきたが、平成 24 年度は残り 58 橋の点検と過年度の点検結果を踏まえた上で「橋梁の長寿命化修繕計画」を立案した。

細事業：橋梁整備事業

1. 橋梁点検と橋梁長寿命化修繕計画の策定

橋梁の点検と橋梁長寿命化修繕計画の策定を実施した。長寿命化計画では、橋梁が悪くなってから修繕する従来の「対処療法型」の修繕方法から、現在の損傷の状態を把握し、劣化を予測して修繕の優先順位を決め、計画的に維持管理を行う「予防保全型」の修繕方法に移行することにより、橋梁の長寿命化と修繕費用の削減を図る。

2. 向野橋詳細調査と補修設計

橋梁の点検の結果、詳細調査が必要と判断された向野橋において詳細調査及び補修設計を実施した。

3. 河内長野駅前歩行者デッキ屋根修正設計

デッキに屋根を設置するため、修正設計を実施した。

	業 務 名	委 託 料 (円)	委 託 期 間	委 託 概 要
1	平成 24 年度橋梁点検調査及び橋梁長寿命化修繕計画策定業務	6,804,000	H24. 6. 12 ～ H25. 3. 25	橋梁点検 N=58 橋 橋梁長寿命化修繕計画策定 N=120 橋
2	向野橋調査及び補修設計業務	2,887,500	H24. 12. 18 ～ H25. 3. 29	詳細調査及び補修設計 1 式
3	河内長野駅前歩行者デッキ屋根修正設計業務	472,500	H24. 6. 1 ～ H25. 10. 10	修正設計業務 1 式
	合 計	10,164,000		